

内閣総理大臣 野田 佳彦 様
厚生労働大臣 小宮山 洋子 様

東日本大震災 被災地支援ボランティアへの 破傷風ワクチン接種無料化を求める要望書

2011年9月12日
全国保険医団体連合会
会長 住江 憲勇

前略 被災者医療の確保に関する取り組みに敬意を表します。

さて、東日本大震災の復旧には瓦礫の撤去が不可欠ですが、さまざまな困難に直面しています。粉塵による肺炎など健康被害も大きな問題ですが、被災地で問題となっている破傷風菌による感染症は、事前の予防接種により防ぐことができます。

国立感染症研究所感染症情報センターの発表によると、6月9日までに震災関連による破傷風の発病が9例報告されています。今後も瓦礫の撤去などで釘やガラスでケガをされて感染する危険があることから、これらの作業に従事する方は予防接種を受けることが必要です。

破傷風菌は発症すると依然6－8割の致死率であり、救命することが難しい疾患です。子供の時に予防接種を受けていても10年経過すると防御できる抗体価以下となり、再接種が必要です。予防接種を受けていない40歳以上はさらに発症の危険性が高いと言えます。

つきましては、被災地で瓦礫撤去などに従事するボランティアの方々が破傷風ワクチンを無料で接種できるように、下記について国へ要望いたします。

記

東日本大震災の被災地で瓦礫撤去などに従事するボランティアで、破傷風ワクチンの接種を希望する者については、その費用の全額を国が負担すること。